

博士前期課程（修士） / 助産看護学領域 / 助産看護学分野 科目コード：280007 助産診断・技術特論演習Ⅱ（分娩期） Midwifery diagnosis / technology special exercise Ⅱ (Delivery period)					
担当教員	亀田 幸枝、濱 耕子、米田 昌代、曾山 小織、河合 美佳、野沢 ゆり乃、長野 晴子、川久保 佳代、石田 美幸				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	4	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	90		
Keywords	分娩期、助産診断、助産過程、フィジカルイグザミネーション、分娩介助、急速遂娩、産科救急、帝王切開				
学習目的・目標	1 助産師が行う分娩期のケアの基本となる考え方を説明できる。 2 分娩期の対象の身体的、心理社会的変化と適応状態を診断し、正常経過を促すケアを立案できる。 3 分娩介助にかかわる基本的な助産技術、ケア技術、態度を修得できる。 4 正常からの逸脱状態を予測・判断し、対応について説明できる。 5 安全、安楽、満足な出産についての考えを述べることができる。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1	ガイダンス、学習課題提示				亀田・曾山
2	さまざまな分娩を知ろう			DVD視聴・討議	亀田・野沢
3	分娩に関連する解剖学知識（課題確認）			講義・演習	亀田
4	分娩期の助産診断に必要な知識、診断・アセスメント視点			講義	亀田
5	助産師がおこなう分娩期のケア			DVD視聴・討議	亀田
6-17	分娩期の助産過程の展開（PBL）			演習	亀田・河合・長野
18-21	分娩期のフィジカルイグザミネーション 産婦の全身状態、胎児と分娩進行のアセスメント、分泌物・破水、分娩進行度、胎児の健康度、バースプラン等			講義・演習	亀田・曾山・河合・野沢
22-31	分娩介助技術 分娩介助の意義と原理、分娩介助に伴う技術、人工破膜、胎児付属物の精査と計測、間接介助、ベビークッチ、出生直後の新生児のアセスメントとケア等含む 記録、出生届、バースレビュー等			講義・演習	亀田・曾山・河合・野沢
32-33	フリースタイル分娩の介助と産痛緩和のケア			講義・演習	川久保・石田 河合・野沢
34-39	分娩期のシミュレーション学習			演習・討議	全員・長野
40-41	分娩介助技術【自主学习】			演習	曾山・河合・野沢
42-45	分娩介助技術確認			演習	亀田・曾山・河合・野沢
	定期試験				
教科書	助産師のためのフィジカルイグザミネーション：医学書院 産科診療ガイドラインー産科編2017ー：日本産婦人科学会 病気がみえる vol.10 産科 改定第3版：MEDIC MEDICA 正常分娩の助産術：医学書院 写真でわかる助産技術：インターメディカ 今日の助産：南江堂 助産師基礎教育テキスト7：日本看護協会出版会				
参考図書等	助産師基礎教育テキスト5：日本看護協会出版会 最新産科学 正常編：文光堂 最新産科学 異常編：文光堂 分娩介助学：医学書院				
評価指標	定期試験60%、演習・討議40%				
関連科目	助産診断・技術特論演習Ⅰ（妊娠期）、助産診断・技術特論演習Ⅲ（産褥期・新生児期・乳幼児期）、助産診断・技術特論演習Ⅳ（ハイリスク）、助産実践実習Ⅰ、助産実践実習Ⅱ				
教員から学生へのメッセージ	PBLまでに分娩期の基礎的知識を学習しておきましょう。妊娠期からの連続性を考え、安全で満足な出産につながるよう知識、技術、態度を身につけていきましょう。				